



元気いっぱい

令和3年10月29日 文責 校長 山本 直樹 No.13

大川小学校創立 150 周年記念式典

学校を出て筑肥線の高架を過ぎると一面にコスモスが咲き誇り秋を感じさせてくれます。さて、コロナ禍で心配していましたが、23日（土）、無事に大川小学校創立150周年記念式典を行うことができました。

当初は、地域の方々や保護者の皆様にも来ていただき、児童の発表なども予定をしていました。しかし、8月後半の感染急増で児童と教職員、限られた来賓の方々で実施せざるをえず大変申し訳なく思いました。式典では、記念講演として、本校元校長の毛利先生に「創立150周年に想う大川小学校の宝物」という演題で話をしていただきました。くすの木やセンダンの木の話、校舎や運動会の歌、本立堂の始まりや学校に残る書や絵画について、児童にわかりやすく話をしていただき、最後は子ども達が宝であることを伝えていただきました。話の途中、運動会の歌をみんなで歌うことになり拳をあげて歌いました。体育館に響く歌声を聞きながら、改めて大川小学校が歴史と伝統ある学校であることを感じました。

スライドショーでは、保護者の方々から提供していただいた写真や校長室に保管されていた古い写真をもとに見事に構成され子ども達も真剣に見入っていました。

昨年度よりご尽力いただいた実行委員の皆様大変お疲れ様でした。ありがとうございました。地域の方々や保護者の皆さまにも、今後ともあたたかく子ども達を育てていただきたいと思います。



記念講演



運動会の歌

本立堂から百五十年

初代校長先生、草場船山先生は多久市生まれ、23歳の時から、江戸や大坂で勉強し、帰郷後は東原産舎で教授をされました。

54歳の時に、大川野で本立堂を開き、翌年は伊万里で啓蒙舎を開かれていましたが、この二つはまだ近代学校ではありませんでした。後に、伊万里啓蒙舎は伊万里小学校となりました。草場先生は伊万里小学校で、伊万里・西松浦の教員になろうとする者に教授法を教え、その後59歳の時に京都に漢学を教えるために、伊万里の人々600人に見送られて惜しまれながら旅立たれました。

草場先生が伊万里におられたのは4年たらずでしたが、伊万里地方の近代教育の創始に大きな足跡を残されました。草場先生の写真は普段は校長の壁に掲げていますが、10月に入ってからは、書や校舎の写真とともに、北校舎にコーナーを設けて子ども達に間近に見てもらいました。



初代校長 草場船山先生

